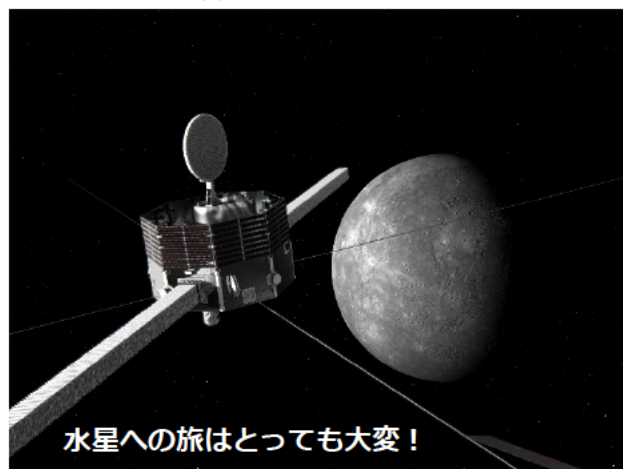


打ち上げ一周年！

水星磁気圏探査機「みお」のいま

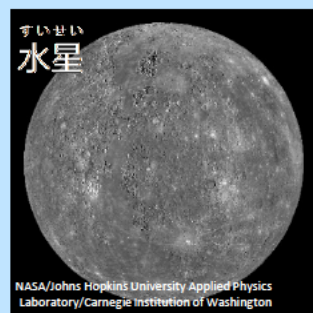
水星への旅にでかけよう！

2018年10月打ち上げに成功した水星探査ミッション「BepiColombo（ベピコロombo）」。金星などをフライバイして、2025年に水星に到着予定です。



水星ってどんなところ？

なんと水星の見た目は月にそっくり！？でも月とは異なる独特の環境も持っていて、水星を調べることで惑星の起源や進化がわかるかもしれないんだ！また、水星は太陽が当たっている昼側は摂氏約400度、当たっていない夜側は約-200度と、ものすごく暑くも冷たくもなる惑星なんだよ。



ベピコロombo計画って？

ベピコロomboは、日本が担当する水星磁気圏探査機「みお」（MMO）と、欧州が担当する水星表面探査機（MPO）の2機の衛星が水星を周回する計画なんだ。

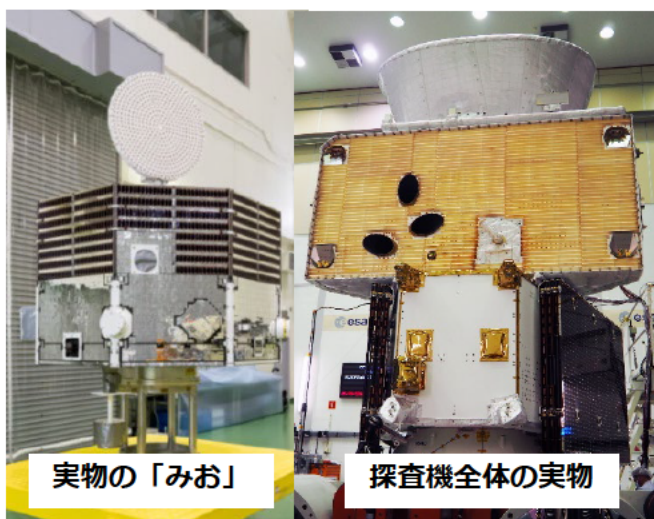
日本とヨーロッパがここまで大きな規模のミッションで協力するのは初めて！



関係者から一言



国際水星探査計画（BepiColombo計画）プロジェクトマネージャの早川基です。水星は距離は近いのですが、水星の周りを回す軌道に衛星を入れようと思うと必要なエネルギーは海王星（太陽系で一番外側の惑星）の周回軌道に衛星を入れるよりも多く要するという、「近くて遠い」惑星です。行ったら行ったで太陽に近い為、生き残るための熱対策に頭を悩ますという、行くのも大変、行ってからも大変という「大変」だらけの惑星ですが、不思議なことがたくさんある大変「面白い」惑星でもあります。この惑星をできる限り調べつくそうという計画（BepiColombo計画）は2018年10月に打ち上げが成功し、2機の探査機が水星に向かっています。水星での観測が始まるのは未だ大分先となりますが、楽しみに待っていていただけると幸いです。



もっと詳しく知りたい人のために
<http://mio.isas.jaxa.jp/>

